

5 【教科に関する調査】の結果

各教科の平均正答率・全体の値について

○各都道府県や各市町村の結果については、H29年度から整数値で公表されている。

(例) 表に記載されている63.0は整数値63のことである。

整数値63…四捨五入して63になる62.5以上63.5未満の値

小学校国語	平成31年度			令和3年度			令和4年度		
	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
全体	64.0	63.8	0.2	64.0	64.7	-0.7	63.0	65.6	-2.6

7 鈴鹿市の重点取組等に関する【児童生徒質問紙調査】の分析について

まとめ方に関して

○4つの分類 (1) 自己肯定感, 挑戦心, 達成感等に関する状況

P23～ 質問番号・・・(7)(9)(10)(11)(12)(15)(16)

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

P30～ 質問番号・・・(38)(39)(43)

(3) 家庭学習, 読書, スクリーンタイムに関する取組状況

P33～ 質問番号・・・(20)(21)(22)(23)(4)(5)(6)

(4) ICTを活用した学習状況

P40～ 質問番号・・・(32)(33)(34)(35)(36)(37)

○取り上げた質問項目 (1) 国立教育政策研究所がR4分析した質問項目

(2) 三重県がR3年度分析した項目

(3) 鈴鹿市の重点取組に関する項目

○記述による分析の視点

(1) R4鈴鹿市とR4全国の比較, R4鈴鹿市とR3鈴鹿市の比較

※比較の視点としては, 国や県を参考にしながら, 肯定的な割合などの視点で分析を行った。

(2) 鈴鹿市における経年変化(5年以内)が特徴的なものについて記述

(3) クロス集計の結果, 平均正答率との相関関係が見られるものについて記述

本年度の結果の特徴(概要)

R4鈴鹿市の結果がR4全国とR3鈴鹿市の結果をともに上回っている質問項目	(10)・・・自分で決めたことをやり遂げる
R4鈴鹿市の結果がR3鈴鹿市の結果を大きく(5ポイント以上)上回っている質問項目	(32)・・・ICTの活用 小 75.7%→82.1% 中 71.0%→86.7%
経年変化(5年以内)において本年度が最も低い質問項目	(9)・・・夢や目標 (23)・・・読書

平均正答率との相関関係が見られた質問項目	(7)(10)(15)(16)(21)(22) ○特に強い相関関係が見られた質問項目 (38)(39)(43)・・・授業改善 (20)・・・家庭学習 (4)(5)(6)・・・スクリーンタイム
----------------------	---